# 寅さん歩 その 24 半径 30 分以内-16 橋めぐりお散歩



平野 武宏

「寅さん歩 半径 30 分以内」は 2020 年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の中での新テーマです。八柳修之さんの「STAY HOME 半径 500m 以内」からヒントをいただき、自宅から 30 分以内で歩いて行けるマイお散歩コースです。今回は橋めぐりです。通常、橋の下は川が流れていますが、今回の橋の下はJR各線が走る跨線橋です。JR山手線の大塚駅〜巣鴨駅〜駒込駅の間(乗車すれば大塚駅〜駒込駅は約5分で到着)にある5つの橋をめぐります。 写真右上は最初に出会う「江戸橋」です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

#### [江戸橋]

寅次郎の自宅から約5分で到着です。写真下左の道を直進すると「不忍通り」に合流します。橋名の由来は定かでありませんが、「不忍通り」を左折して進むと江戸城下に向かうので、名づけられたものと推察しました。写真下右は下を走るのは山手線の内回り(池袋方面)です。右の線路が山手線外回り(上野方面)、左の2本の線路は湘南新宿ラインです。





橋を通る道は「江戸橋通り」と名づけられています。橋を渡って左折した線路 沿いには「江戸橋公園」(写真下左)がありました。もと来た道に戻り、線路に 沿ってある「すがも桜並木通り」(写真下右)を巣鴨駅方面に向かいます。

寅さん歩 358 半径 30 分以内一6 さくら散歩道-1 をご覧ください。





#### [宮下橋]

「すがも桜並木通り」の途中にある次の橋です。下を見ると湘南新宿ラインが 走って来ました。山手線ほど頻繁に来ないのでラッキーでした。





右折して橋を渡り、「宮下橋通り」を進むと、住所表示は豊島区巣鴨一丁目から 文京区千石四丁目に変わります。文京宮下公園前の交差点右側に「文京宮下公 園」がありました。公園脇に旧町名案内「旧宮下町」がありました。 案内板には「旧宮下町は昭和41年までの町名。古くは伝通院領で、年代は分か らないが町屋が開かれ、氷川明神(現・簸川神社)下にあったが、承応元年(1652 年)館林藩主徳川綱吉(五代将軍となる)の白山御殿の用地に召し上げられ、そ

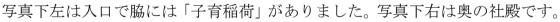
の代地として巣鴨村の一部に移った。町名は、もと氷川明神下にあったので、

お宮の下、宮下町と名づけられた。簸川神社は現在、千石 2—10—10(小石川植物園の西隣)にある。明治 5 年、五福町(もと五軒町)と付近の武家地を合併した。更に同 13 年、同 24 年付近の地を併せた。明治初期には、政府の奨励により茶畑が造られ。製茶は小石川地区で最も多かった」と記載。 写真下左は「文京宮下公園」、写真下右は「簸川神社」です。

寅さん歩350 東京の博物館めぐり一37 文京区一7をご覧ください。



橋名の由来は町名からと理解しましたが、 すぐ近くにある「巣鴨大鳥神社」との関係 を知るべく「巣鴨大鳥神社」を訪問しました。







「巣鴨大鳥神社」は江戸初期の貞享5年(1687年)巣鴨村新左衛門の勧請により、「巣鴨稲荷」として創祀され、江戸末期の元治元年(1864年)には、初めて酉の市が立ち、現在も活況を呈しています。寅さん歩79 江戸・東京の祭―10 (江戸らしい祭―3)をご覧ください。

境内にいた関係者に伺ったら、ここの氏神様は「簸川神社」とのことでした。 線路沿いの道に戻り、進むと「白山通り」に交差します。 「白山通り」は千代田区平川門交差点から文京区三田線千石駅前交差点までと、 国道 17 号の千石駅前交差点から豊島区西巣鴨交差点までの東京都の公式愛称 です。

### [巣鴨橋]

写真下は「巣鴨橋」で写真下右の左側は「白山通り」です。





写真下左は「白山通り」沿いにあるJR山手線巣鴨駅です。写真下右の「白山通り」を進み、少し行くと左側が「巣鴨地蔵通り」(旧中山道)の入口です。 寅さん歩320 半径30分以内—1巣鴨地蔵通りをご覧ください。





#### [染井橋]

「白山通り」を横断して巣鴨駅の脇を線路沿いに「駒込駅」方面に歩きます。 突き当り右折すると、写真下左の場所です。直進が「染井橋」、左折すると 正面が「駒込駅」です。今回は直進して「染井橋」(写真下右)を渡ります。





橋のフェンス下は桜模様(写真下左)です。直進すると「六義園」染井門(写真下右)です。この門は園内の桜や紅葉のライトアップの時期に開けられます。 通常は裏に回って正門から入ります。寅さん歩 323 半径 30 分以内一3 六義園をご覧ください。





## [駒込橋]

「六義園」手前を左折すると「本郷通り」で、左折すると「駒込橋」(写真右)です。 この辺りは文京区と豊島区の区境です。

「六義園」は文京区、「駒込橋」と「駒込駅」 (写真下右)は豊島区です。「駒込橋」の欄干 は富士山と桜の模様(写真下左)です。



この地は「染井よしの」発祥の地です。

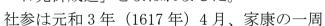




「大国神社」(こぼれ話―2) 手前を左折すると、先ほどの「染井橋」のたもとに出ます。右折直進すると突き当りは「染井霊園」です。寅さん歩 322 半径 30 分以内―2 染井霊園をご覧ください。

#### [こぼれ話-1] 日光御成道(本郷通り)

「本郷通り」とは千代田区神田橋交差点 より北区飛鳥山交差点に至る道路で文京区 本郷を通ることから名付けられています。 写真右の駒込駅前の「本郷通り」を直進する と北区の旧古河庭園、飛鳥山に通じています。 将軍が日光東照宮の4月の大祭に参拝する 日光社参の折にはこの道を通ったので 「日光御成道」とよばれました。





忌のときに、2代将軍秀忠が参拝したのが始まりとのことです。

時代と共に大がかりになって、莫大な費用がかかるようになり、19回で終わっています。将軍の中で一番多く行ったのは3代将軍家光の10回で、まったく行かなかった将軍が8人いたとのこと。御成りの日は通過する村々は総出でお迎えをしたそうで、面倒で窮屈だと村人の中には家に貸家札を貼って浅草辺りに遊びに行く者も出てきて、貸家の裏で鶏が鳴くことから役人に見つかり、大家が油をしぼられたとの話があったそうです。

#### [こぼれ話-2] 大国 (だいこく) 神社 豊島区駒込 3-2-11

写真上の画面左側にあるのが大国神社(写真下)です。天明3年(1783年)に

この地に祀られたとのこと。祭神は大黒天で、大黒は大国に通じるところから、

大国主命(大巳貴命)とされています。 第11代将軍家斉が西の丸に世子(世継ぎの意味)としていた当時、西ヶ原への鷹狩りの帰途に立ち寄ってまもなく将軍職を継いだので評判になり、出世大黒や日出大黒ともよぶようになったとのこと。現存する参詣者人名簿の中に、御本丸・西御丸御殿役人という冊子があるとのこと。駒込駅前の交差点にあり、人通りも多く、



もう出世とはあまり縁のなさそうな多くの人達が立ち止まってお参りしていました。寅次郎のその一人です。

#### [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。 寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道(道中)」と共用なので宇都宮を出発点としました。2020年12月23日栃木県宇都宮市を出立、2021年6月26日、岩手県の金田一宿(江戸から632km)に到着しました。岩手県最後の宿場で、いよいよ青森県入りです。

新型コロナウイルス感染拡大で6月の例会が中止となっています、運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の密にならないようにご注意ください!

平野 寅次郎 拝